

数学

同志社大学 全学部日程 [文系] (2 / 5 実施)

<全体分析>

試験時間

75 分

解答問題数

3 題

解答形式

空所補充問題 1 題・記述式 2 題の構成

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

空所補充問題の小問が昨年から 1 つ減り、3 題になった。例年通り定理・公式を適切に運用できるかをみる問題や基本的な数学の考え方をみる問題が多い。

記述式の問題では思考力や記述力をみる問題が多い。

その他トピックス

データの分析が出題された。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
〔Ⅰ〕 (1) (2) (3)	場合の数	数学 A	$a \leq b \leq c$ を満たす整数 a, b, c の組数	標準
	式と証明	数学 II	x^{2n} を x^2-4 や x^2+4 で割ったときの余り	標準
	データの分析	数学 I	25 人のテストの得点の平均と分散を求める問題	標準
〔Ⅱ〕	図形と計量 数列	数学 I	正三角形に外接する円とその正三角形に内接する円を帰納的に作っていく問題	やや難
		数学 B		
〔Ⅲ〕	図形と方程式	数学 II	2 円の位置関係	やや難

※難易度は 5 段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

教科書の章末問題と同等な問題が多く出題されている。したがって、定義や用語、公式や定理を正確に把握し、適切に運用する練習を徹底したい。単なるパターン学習や暗記学習では対応できない問題も多く出題されているので、普段から教科書や問題集を解くときに、解き方だけでなく、そこで登場する公式や定理、数学的な考え方がどのように機能して (うまく使われて) いるかを意識して、学習して欲しい。